

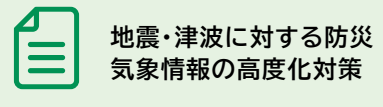
地震・津波に対する防災気象情報の高度化対策 【国土交通省】

施策概要

効果

地震・津波に対する防災気象情報の高度化に向け、停電対策や通信の多重化等観測施設の整備、情報システムの更新等の対策を実施

災害時にも観測点への給電を継続し迅速な情報発表体制を維持。また、津波警報等の緊急性をより分かりやすく伝え、住民の迅速な避難行動を促進



全国的な対策と効果

<地震観測施設の更新強化>

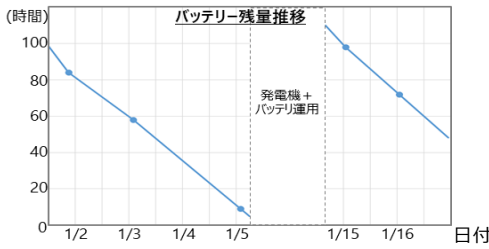
更新強化の進捗(年度ごとの実施数)

R3	R4	R5	R6	R7
10	87	4	31	60

(単位:地点数)

老朽化している地震観測施設を更新し、停電対策の強化を実施

停電対策を強化した電源装置等(石川県輪島市)



- リモートでの電源管理、機器の再起動の実施、バッテリー残量の把握等が可能に(令和6年能登半島地震による停電時も地震観測を継続)
- 災害時の停電が長期化した場合にもバッテリー交換等を実施することにより観測を継続し、津波警報等、地震津波に関する情報発表を継続

<ビジュアル化した津波到達予想時刻の提供による津波情報の高度化>

報道発表資料での使用例

令和7年7月30日カムチャツカ半島東方沖の地震による津波の第1波到達予想時刻をビジュアル化して提供



令和7年11月9日三陸沖の地震に関する記者会見(ビジュアル化した図による津波の解説)

- 津波警報・注意報の発表状況と津波の到達予想時刻が一目でわかり、津波避難の緊急性がより伝わりやすくなるため迅速な避難行動の促進が可能

予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
1億円	12億円	3億円
R6	R7	累計
2億円	2億円	21億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

目標達成の見通し

